



ピアノの名曲と その作曲家たち (全2回)



数多あるピアノのための名曲。
モーツァルトとショパンを切り口に
ピアノ音楽の魅力に迫ります。



第1回(6月21日)
モーツァルト

その天真爛漫なピアノ音楽



講師:飯田有抄さん
クラシック音楽ファンリテーター



第2回(7月12日)
ショパン

ピアノの詩人が残したもの

※ピュアオーディオの使用はありません。会場備え付けの音響機器を使用します。

※日 時: 第1回: 2023年6月21日 (水) 第2回: 2023年7月12日 (水) どちらも14:30~16:30

※会 場: 大和市文化創造拠点シリウス 6階 生涯学習センター 601講習室

※定 員: 40名 (先着)

※対 象: 18歳以上の大和市内在住・在勤・在学の方 (高校生を除く)

※参加費: 各回1,000円

※申 込: 5/27 (土) 10時から受付開始 お電話または6階生涯学習センター窓口へ
市外の方は、お席に空きがある場合、6/2 (金) 10時からお申し込みできます。
右のQR、お電話または6階生涯学習センター窓口へ

お申込・お問合せ 046-261-0491



※天候や交通機関の運行状況及びその他不可抗力により、開催が中止となる場合があります。

※駐車場の数に限りがありますので公共の交通機関でお越しください。

主 催 | やまとみらい (大和市文化創造拠点等 指定管理者) / 大和市生涯学習センター <https://yamato-bunka.jp>

わたしたちに馴染み深い楽器、ピアノ。コンサートホールはもちろん、小学校の体育館からホテルのラウンジ、そして一般の家庭内にもある鍵盤楽器です。現代のわたしたちが目にするのは黒々とした立派なピアノですが、最初期のピアノが誕生した1700年頃から、ピアノ文化が最も飛躍的に花開いた19世紀にいたるまでは、さまざまな姿形や音色の個性をもったピアノが存在していました。

本講座では、ピアノという楽器の歴史に触れながら、鍵盤を縦横無尽に操って名曲を残してきた二人の作曲家、モーツァルトとショパンに焦点を当て、それぞれの人物像やピアノ作品に迫りたいと思います。

およそ半世紀という時代差のある二人が弾いていたピアノは全く異なり、また彼らが残したピアノ作品にも大きな違いがあります。それぞれのピアノ、そして作品の魅力とは何か、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

※ピュアオーディオの使用はありません。会場備え付けの音響機器を使用します。



6月21日(水)
14時30分～16時30分
モーツァルト

「その天真爛漫なピアノ音楽」

はつらつとした音色を持つウィーンのピアノを愛したモーツァルト。ピアノソナタを中心に、数々の名曲の世界にご案内します。

7月12日(水)
14時30分～16時30分
ショパン

「ピアノの詩人が残したもの」

ショパンは19世紀パリにおけるサロン文化のスターでした。ショパンが充実させたピアノ音楽のさまざまなジャンルについてお伝えします。

♪ 講師プロフィール ♪

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。同大学院修士課程修了。Macquarie University(シドニー)通訳翻訳修士課程修了。雑誌、書籍、楽譜、CD、コンサートプログラムなどの執筆・翻訳をこなしながら音楽イベントの司会やトーク、教育イベントやワークショップのファシリテーター、セミナー講師、アドバイザーとしての仕事に従事している。イベントではピアノ演奏、トイピアノ演奏も行い、クラシック音楽の普及にまつわる幅広い活動をおこなっている。